

立寄るハイカーが
潮目を作る
自分自身も楽しいよ

かたやま わいちりょう

片山 和一良 さん

震災伝承施設 潮目 館長

昭和26年、大船渡市三陸町生まれ。
三陸駅(三陸鉄道)近くにあるハイカーも
利用できる施設「潮目」を運営。

震災直後、地震と津波で瓦礫の山となった町をどのように復興させたいのか？
遊び場を失った子供たちに未来の越喜来(おきらい)を画用紙に描いてもらい展示したことが
きっかけとなり、人が集まる場として、潮目を作りました。

親潮と黒潮がぶつかる三陸沖の世界三大漁場となっている潮目は有名ですが、ここでは、
地元住民と旅人(ハイカー)が出会います。

潮目の建物は、理容室ニュー清水のプレハブ店舗を譲り受けて、移築したものです。
また、建物の横に、旧越喜来小学校の児童を津波から救った非常階段を屋根材に取り付けた
掲示板を設置しています。

潮目では、日頃から、地元の人が寄り合いを開いたり、子供たちの遊び場として利用されています。
ハイカーと子供たちが一緒に楽しんでいる感じがいいです。

ハイカーにこの地域をゆっくり見て貰うため、潮目近くにお薦めコースをつくったり、
トレイルルート上に楽しんでもらうための仕掛けを設けたりしています。

ハイカーには、色々な職業の方がいられると思いますが、私自身、ハイカーからたくさんの
影響を受けてきました。

自由に使ってもらえるうちは、潮目を続けようと思います。



片山さんは近隣のルートを見回り、草刈りや
倒木処理などの整備活動も自分のできる範囲で
精力的に行っている。